

30

令和8年8月

岩手大学教職大学院



NEWS Letter

岩手大学大学院 教育学研究科 教職実践専攻

「教育実践研究の成果」を更新して公開中
教職大学院ホームページにてご覧いただけます！<https://www.edu.iwate-u.ac.jp/master/>

岩手大学大学院教育学研究科研究年報

オンラインISSN 2432-924X

- 高橋規真・佐藤寿仁（2026）自律的な問題発見・解決能力を育成するための中学校数学の授業開発
- 五島佑希菜・滝吉美知香（2026）注意欠如多動症児・者の原因帰属一状態像との関連および保護者がとらえる子どもの原因帰属一他6編掲載、教育学研究科研究年報 第10巻



問合先：岩手大学教育学部

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3丁目18番33号 TEL.019-621-6504 FAX.019-621-6600

E-mail edujim@iwate-u.ac.jp URL <https://www.edu.iwate-u.ac.jp/master/>

専門実習を終えて

特別支援教育力開発
プログラム
現職 M2 佐藤 光一

県教育委員会及び総合教育センターでの実習を通して、「教育課題を的確に捉えること」と「関係各所との連携と協働」の重要性を実感しました。教育課題の背景を丁寧に分析し、学校現場のニーズを的確に把握しながら、学校に寄り添う指導主事の先生方の姿勢や具体的な業務に触れ、教育行政の立場から子どもたちの学びを支える「伴走者」のあり方を学びました。

授業力開発プログラム
学卒 M2 高橋 美羽

専門実習も2年目となり、学校の環境にも少しずつ慣れてきた中で、先生方とのコミュニケーションを大切にしながら、授業実践や学校行事に取り組むことができました。来年度から教員として働くことを見据え、新年度の様子や朝の会なども参観させていただく中で、「理論と実践の融合」をこれまで以上に意識できるようになったと感じています。

教育実践研究・中間発表会

中間発表会に向けて

授業力開発プログラム
現職 M2 菊池 雄一郎

私の研究テーマは「中学校英語『読むこと』における概要把握の強化」です。全国学力・学習状況調査の結果を分析したところ、生徒の読解力、特に「概要把握」に課題があることが明らかになりました。そこで本研究では、この課題を改善するための指導法を検討しています。中間発表会でいただくご意見・ご指導を踏まえながら、研究テーマの有効性について引き続き検証してまいります。

中間発表会に向けて

特別支援教育力開発プログラム
学卒 M2 千葉 暖斗

私は、知的障害特別支援学校において、教育活動全般でソーシャルスキルを指導するための個別の指導計画の作成と活用の手続きを明らかにすることを目的とし、研究を進めております。現在、個別の指導計画の作成をし、実践の準備を進めているところですが、中間発表でいただいたご意見、ご助言を踏まえながら、よりよい実践ができるように努めていきたいです。

教育学研究科教員
メッセージ

研究科長 中村 好則

次期学習指導要領の改訂に向けた議論が進み、2025年9月には論点整理が公表されました。そこでは、「生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を切り拓く力を育む」ことが教育の中心に据えられています。その実現に向けて示された、①主体的・対話的で深い学び（Excellence）②多様性の包摂（Equity）③実現可能性の確保（Feasibility）の三つの方向性は、いずれもデジタル学習基盤の効果的な活用を前提としています。1人1台端末環境が整った今、学習者一人ひとりに応じた個別最適な学びと、他者と共に創る協働的な学びを統合的に実現することが求められています。そのためには、教師自身がデジタルを理解し、学習データを活かし、学びをデザインする専門性を備えることが不可欠です。今年度から本研究科では「DX of Education [DX.E]」プログラムが始まり、数理・データサイエンス・AIを体系的に学べる環境が整いました。これらは次期学習指導要領の方向性に直結する学びであり、未来の教育を担う皆さんにとって大きな力となるはずです。デジタル学習基盤を活用し、子どもたちの学びを支える新たな教育を創り出すために、積極的に学び、専門性を磨いていくことを期待しています。

授業力開発・DX.E
プログラム
現職 M1 佐藤 健太

授業力開発実習を通しての気付き

研究テーマのもと、授業参観や教科部会への参加、自身の授業実践を通して知見を広げています。授業実践では大学の先生方や協力校の先生方から助言・指導をいただき、新たな気付きや学びを得るだけでなく、自身のこれまでの実践を振り返る機会となっています。大学院で学ぶ理論と現場での実践を往還しながら教師としての専門性を高める充実した日々を送っています。

授業力開発・DX.E
プログラム
学卒 M1 大井 綾乃

毎週木曜日に連携協力校で授業をさせていただく中で、多くのことを学んでいます。授業の単元デザインや課題設定などと併せて、教室環境の整備や生徒理解など、学びに向かう土壌づくりの重要性についても、実践を通して改めて気付くことができました。この実習は、目指す教師像に近付くために今の自分に何が必要なのかを考える貴重な機会となりました。

「ニューズレター」の最新号とバックナンバーは、こちらから
<https://www.edu.iwate-u.ac.jp/master/>「岩手大学大学院教育学研究科研究年報」は、こちらから
<https://www.edu.iwate-u.ac.jp/master/shoukai-2/seika>「岩手大学教育学部プロジェクト推進支援事業 教育実践研究論文集」は、
こちらから <https://www.edu.iwate-u.ac.jp/kenkyuu-2/gp/>「教育実践・学校安全学研究開発センター」は、こちらから
<https://www.edu.iwate-u.ac.jp/huzoku/js/w/>